

・採択された事業の概要や提案者の目的・狙い、シンポジウムなどの情報を紹介。

ススメ!次世代住宅

本事業のHP「ススメ!次世代住宅」では、採択事業の概要や提案者の目的・狙いなどを紹介。

採択事例

IoTホームファシリティ・マネジメントで生活用品の在庫管理

IoTホームファシリティ・マネジメントの導入による...

背景 溢れる生活用品と配達問題
生活用品の増加、多様多様化で生活用品の増減、高齢化に伴う行動と補充頻度の増加が必要。共同シブの宅配対応が未確立、高齢者ローコストに...

目的 生活用品の管理のIT化と置き場の拡張改良
・生活用品の在庫・所在履歴記録のIoTによるデータ化で、在庫管理を簡便に。不足や過剰をアプリで知らせる。
・高齢者等の注文への個別対応をサポート。宅配ボックス未設置のマンションにおける置き配スペース等による開封の総合的改善と宅配の効率化を...

システム

採択事例

IoTを活用した熱中症対策と空気質管理で快適性・健康確保

スマートホームシステムを活用した住宅内の熱中症対策と空気質管理の有効性を実証するプロジェクト。(株式会社LIXIL)

背景

- 居住者が適切な換気や冷房を行わないことにより、居住者が熱中症を発症する恐れがある。
- 高齢者や障がい者は、熱中症の症状が分かりにくいことがある。
- 適切な換気を行わないことにより、住宅内のCO2濃度が高まる恐れがある。

目的

「暑ごもり」や「在宅勤務」などのステイホームで、住みやすさが増加しましたが、住宅内に暑気悶も蓄積してしまいがち。私どもはスマートホームシステムを利用して住環境の改善をアクティブに解決を試み、「暑かた快適な住生活を実現したい」と考えます。

目標(スケジュール)

令和3年度：体感室温施工、モニター物件募集、マネジメントシステム整備、物件施工
令和4年度：実証検証、アンケートヒアリング、データ分析、データまとめ

実施体制

LIXIL：体感室温施工、マネジメントシステム開発、物件施工、実証検証、データ分析
長野州：モニター物件募集、アンケートヒアリング、データ分析、データまとめ

採択事例

電流センシングとIoTデバイスで電気火災の未然防止と防災情報配信

室内IoTを活用した防災・減災サービス(東京電力ホールディングス株式会社)

背景 災害に備えた対策の必要性
・建物火災の約2割を占めている「電気火災」の発生原因は電気設備の不具合であるが、電気設備トラブルを事前に把握することは非常に難しい。
・防災行政無線は、地震発生時の風雨が強い場合、十分に報知しない可能性がある。

目的 IoT技術を活用した防災・減災
・宅内の電流情報を分析することで、電気火災の発生原因となる電気設備トラブルの予兆を検知し、電気火災の未然防止や住生活の質向上を実現する。
・防災情報を宅内のIoT機器に伝達することで、災害時には安否情報を外部(自治体等)に発信することで安心・安全な生活を実現する。

目標(スケジュール)

①2021年度目標
実証検証の協力/依頼およびIoT機器供給
②2022、2023年度目標
データ収集・分析およびユーザーリサーチ調査

実施体制

消防研究センター
・助言
協業企業
・IoT機器供給
・データ収集/管理
・アンケート調査

IoT技術の概要

【電力センサーの特徴】
・電流検出器で測定した電流情報(消費電力)を分析し、電気設備の異常予兆として発生する過剰な電流を検知
・宅内の様々なIoT機器と連携することでGW検知
・取得データは送信回線を経由し上位サーバへ伝送

実証内容

①電気設備異常の予兆把握
電流波形分析技術を活用した宅内電流設備トラブルの予兆把握による効果・利便性の検証
②防災情報の伝達・安否情報発信
電力センサーをベースとした防災情報伝達・安否情報発信の効果・利便性の検証
実証結果・検証結果の活用性検証/本実証の実証効果を検証

シンポジウムの開催

採択事業の振り返りやこれからのIoT住宅に期待される役割などについて、有識者を交えたシンポジウムを開催。

パネルディスカッション
～「サステナブル住宅事業の新しい方向性」について～

オンライン開催となった、第5回「サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」シンポジウム。プログラムの最後には、「サステナブル住宅事業の新しい方向性」について議論するパネルディスカッションが行われた。話題は過去の採択事例の振り返りから、ニーズ調査結果による分析、今後の住宅施策および、次年度の本事業に期待する取り組みテーマなどに及んだ。

2022/03/31

パネルディスカッション
～「サステナブル住宅事業の新しい方向性」について～

オンライン開催となった、第5回「サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」シンポジウム。プログラムの最後には、「サステナブル住宅事業の新しい方向性」について議論するパネルディスカッションが行われた。話題は過去の採択事例の振り返りから、ニーズ調査結果による分析、今後の住宅施策および、次年度の本事業に期待する取り組みテーマなどに及んだ。

2022/03/31

ニューノーマル時代のIoT次世代住宅 ～ロボット等による家事負担軽減～
【パネルディスカッション】Part4

今年度で4年目を迎えた国土交通省・サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)。今回のシンポジウムでは、平成29年度から令和2年度までに採択された14のプロジェクトを5つのグループに分け、取り組みテーマごとにパネルディスカッションを行った。Part4のテーマは「ロボット等による家事負担軽減」だ。ロボティクスを取り入れることによって、生活の向上だけではなく、新しい住まいのかたちも模索する。今年度に採択された2事業者の取り組みを紹介する。

2021/03/31

ニューノーマル時代のIoT次世代住宅 ～ロボット等による家事負担軽減～
【パネルディスカッション】Part4

今年度で4年目を迎えた国土交通省・サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)。今回のシンポジウムでは、平成29年度から令和2年度までに採択された14のプロジェクトを5つのグループに分け、取り組みテーマごとにパネルディスカッションを行った。Part4のテーマは「ロボット等による家事負担軽減」だ。ロボティクスを取り入れることによって、生活の向上だけではなく、新しい住まいのかたちも模索する。今年度に採択された2事業者の取り組みを紹介する。

2021/03/31